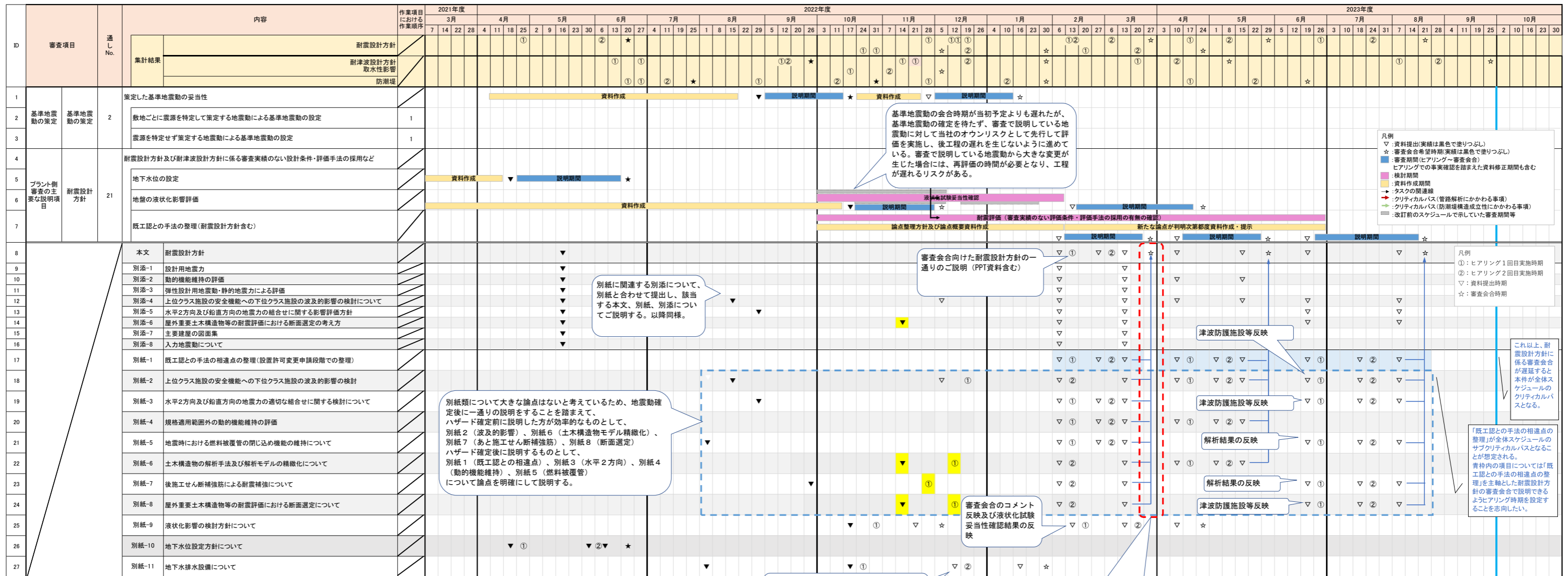


泊3号炉 耐震設計方針説明スケジュール



【スケジュールの作成方法について】

1. スケジュールの上段では審査会合で提示するスケジュールから、耐震設計方針及び耐津波設計方針に係る内容について抽出しております。
2. それを基にスケジュールの下段にて前タスクとなる事項との関連を考慮して資料提出、ヒアリング、審査会合の希望時期をプロットしたうえで、ヒアリングや審査会合が輻輳する時期を極力少なくするように配置しております。
3. その中でもクリティカルパスに係る箇所およびサブクリティカルとなり得る箇所については背景色を変えております。加えてクリティカルパスとなる箇所については下部に矢印も表記しております。
4. ヒアリングや審査会合の輻輳状況を確認するため、最上段に耐震設計方針と耐津波設計方針に係るヒアリング及び審査会合の状況がわかるように各々を集計した結果を示しております。
5. 上記の検討結果を踏まえて、スケジュール上段のバーを更新し、更新前のバーは灰色の影で示しております。

泊3号炉 耐津波設計方針説明スケジュール

Project schedule chart with columns for months (2021年度, 2022年度, 2023年度) and rows for various project tasks. Includes a central callout box about a review meeting on October 28, 2022, and various annotations regarding critical path and progress updates.

2022年10月28日の審査会合の結果を踏まえてスケジュール検討中。  
関連する項目についても上記検討結果を踏まえスケジュールを検討する。

現時点で当社が想定している基準津波にて解析準備(敷地の地形変化に係る評価・モデル作成)を先行実施しており、クリティカル工程内に収まる見込み。  
ただし、基準津波の資源の追加等の影響により解析工程が延びる場合には、クリティカル工程を超える可能性がある。  
そのような場合に於いても解析要員の増強や機器の増設により解析期間短縮に向けた体制強化等を検討していく。

※5  
基準津波の資源の追加、入力津波解析条件見直し及び  
茶津入構トンネル等の追加解析を考慮

説明期間が延びると入力津波の解析期間に係るクリ  
ティカルパスに影響を与える可能性がある。

基準津波確定後の一通りの  
説明時期

(b)入力津波の評価結果を説  
明する。

・入力津波の評価については、(a)評価方針(解析条件)、(b)評価結果の順に分けて説明する。  
・(a)12月上旬から地形等の変化として考慮する項目等の評価方針を説明する。(9/29審査会合審議結果③対応)

解析結果を踏まえた津波影響評価に係る検討  
津波解析結果を踏まえた基準津波への影響評価  
基礎津波を踏まえた防波堤の影響評価  
取水水路からの流入防止に係る方針  
実証解析結果を踏まえた妥当性確認

基準地震動の工程変更に伴う防潮堤の構造成立性評価への影響は検討中。

地盤斜面の安定性～アクセスルートへ

茶津入構トンネル及びSAアクセスルートトンネルに係る基準津波への影響評価結果については評価が完了次第第7にて説明する。  
また、茶津入構トンネル及びSAアクセスルートトンネルに係る管線解析については適しNo.21の「耐津波設計に係る解析工程」において評価が完了次第第7にて説明する。

全体工程のクリティカルパス(入  
力津波解析に係る事項)の条件  
を確認したことからグループ1  
→2→3の優先順を志向したい。

入力津波の解析へ

解析結果を踏まえ

主要な説明事項としている「取水  
性への影響評価」「取水水路から  
の流入防止」に係る方針について、  
この時点でご説明

修正がある資  
料のみ提出

設計進捗を反映

解析結果を踏まえ

解析結果を踏まえ

概要をグループ2  
でご説明

※1 津波影響評価については方針を説明し、審査委員の承認は工事計画部所管  
※2 []内は別添1頁次を示す。

